

## ※別添【連絡事項】

「全日本パラ卓球選手権大会（肢体の部）」（以下、「本大会」という）は、ITTF PTT ルールにより実施するが、以下の内容について本大会の申し合わせ事項とする。

### 1. 車いす使用競技者の規則

車いす使用競技者は、ITTF PTT ルールに従ってプレーするものとする。

競技中（プレー中）は、電動機能の使用は不可とする。ただし、卓球台またはベンチまでの移動については、電動機能を使用できる。（ITTF 確認済み）

特例として、下記審判長判断事項を認める。

### 2. 立位競技者の規則

立位競技者は、ITTF PTT ルールに従ってプレーするものとする。

ただし、特例として、下記の審判長判断事項を認める。

## 【審判長判断事項】

① 選手が、競技する前に、障害のため、正規なサービスができないとの申告があれば、審判長の判断により、正規のサービスのための条件を緩和することができる。

② 選手が、障害のため、競技中の身体のバランス回復のために、フリーハンドで卓球台を掴む・触れる等の要求を事前に申告すれば、審判長により、決定することができる。

### 3. 競技上の注意について

出場選手は、ゼッケンを着用すること。

(ア) 日本卓球協会指定ゼッケンは、当該年度のものを着用すること。

ただし、日本卓球協会登録所属と本大会申込所属が違う場合は、申込所属記載のゼッケンを着用とする。

(イ) 参加者には本大会の記念ゼッケンを配布するので、これを着用しても良い。

(ウ) ゼッケンを作成する場合、サイズは 縦 20 c m × 横 25 c m とする。

(エ) ネームがプリントされているウェアの着用を認めるが、その場合でもゼッケンを着用すること。

### 4. クラス分けについて

公平な大会運営のため、過去の国際クラス分け判定と異なるクラスで出場している選手については出場申込受付時に、また、これまでに国内クラス分けを受けていない選手については協会会員登録時に、それぞれ協会クラス分け担当または事務局から連絡し、確認を行う。

※大会出場にあたっては、クラス分け判定を必ず受ける必要がある。

5. その他

この申し合わせ事項は、本大会のみの適用とする。

この申し合わせ事項による定めは、国際大会で適用されている ITTF PTT ルールとは異なる点がある。

(附則)

2024 年大会 上記 1 項および 3 項に追記あり (電動車いす、大会記念ゼッケン)